

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員20名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、テーマ番組を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

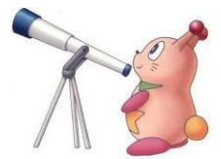
2. テーマ番組「スペースコロニー」9月22日から投影スタート

6月22日から投影している、「470億光年の、その先へ」の投影は9月19日(月・祝)までとなります。かわって9月22日(木)からは、新番組「スペースコロニー」がスタートします。

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

定員20名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を20名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



9月の注目天体情報

☆見ごろの星座：はくちょう座

夏の大三角の一つ「デネブ」のある星座です。大神ゼウスがスパルタの王妃レダに会いに行くために白鳥の姿に変身した姿だといわれています。大きな羽を広げた鳥の姿はイメージしやすいです。

☆二重星アルビレオ

はくちょう座のくちばしの星で肉眼ではひとつに見えますが、望遠鏡で観察すると色が違う2つの星が寄りそう「二重星」です。色の違いの美しさを宮澤賢治は物語『銀河鉄道の夜』で宝石の「サファイア」と「トパーズ」にたとえています。

☆ドーナツ星雲(M57)

こと座にありニックネームのとおり、ドーナツのような形に見える星雲です。太陽くらいの重さの星が一生を終えようとしている姿で、中心の星から噴き出したガスが星の光(紫外線)に照らされ光っています。ガスは今も広がっており、やがて宇宙空間へと消えていきます。太陽も数十億年後にはこのような姿になるだろうと考えられています。

☆テレビ観望システム

4月から10月までは毎週金・土の観望会で運用します。103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。このシステムは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)を活用して整備されました。



はくちょう座の星のならびと夏の大三角



二重星アルビレオ



ドーナツ星雲(M57)

